



病院事業決算

収益的収入および支出	平成20年度	平成19年度
病院事業収益	1,324,307,706 円	1,435,265,871 円
病院事業費用	1,422,166,547 円	1,450,088,868 円
当年度純損失	97,858,841 円	14,742,997 円
当年度未処理欠損金	1,677,818,704 円	1,579,959,863 円
当年度未不良債務	749,197,817 円	708,254,108 円
資本的収入および支出		
資本的収入	27,616,021 円	23,682,494 円
資本的支出	27,616,021 円	23,682,494 円
資本的収支不足額	0 円	0 円



水道事業決算

収益的収入および支出	平成20年度	平成19年度
水道事業収益	293,025,028 円	296,018,192 円
水道事業費用	261,141,095 円	279,268,823 円
当年度純利益	27,080,233 円	13,543,869 円
当年度未処分利益剰余金	123,143,298 円	96,741,065 円
翌年度繰越利益剰余金	121,789,298 円	96,063,065 円
資本的収入および支出		
資本的収入	55,100,000 円	46,500,000 円
資本的支出	140,080,818 円	102,653,870 円
資本的収支不足額	84,980,818 円	56,153,870 円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額84,980,818円は、当年度分損益勘定留保資金80,177,118円、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額4,803,700円で補てんした。



下水道事業決算

収益的収入および支出	平成20年度	平成19年度
下水道事業収益	303,855,704 円	105,570,984 円
下水道事業費用	434,339,541 円	332,413,787 円
当年度純損失	148,490,212 円	233,053,741 円
当年度未処分欠損金	616,975,497 円	468,485,285 円
当年度未不良債務	0 円	0 円
資本的収入および支出		
資本的収入	698,205,000 円	995,501,993 円
資本的支出	849,128,560 円	998,552,893 円
資本的収支不足額	150,923,560 円	3,050,900 円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額150,923,560円は、資本費平準化債19,800,000円および当年度分損益勘定留保資金131,123,560円で補てんした。

議会の



6月定例会

議決された

主な議案

- ・平成20年度鶴田町病院事業決算認定について
- ・平成20年度鶴田町水道事業決算認定について
- ・平成20年度鶴田町下水道事業決算認定について
- ・平成20年度鶴田町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度鶴田町一般会計補正予算(第1号)案
- ・平成21年度鶴田町病院事業会計補正予算(第1号)案
- ・平成21年度鶴田町老人保健特別会計補正予算(第1号)案
- ・町道の路線の廃止について
- ・町道の路線の認定について
- ・平成20年度鶴田町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- ・平成20年度鶴田町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
- ・人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- ・社会資本整備を国の責任で実施する地方整備局青森河川国道事務所
の存続を求める意見書採択 を求める請願書
- ・社会資本整備を国の責任で実施する地方整備局青森河川国道事務所
の存続を求める意見書案
- ・三浦勉君の議員の資格決定の件

概要 第一回定例会

平成21年第2回鶴田町議会定例会が、6月17日から23日までの会期7日間で開かれました。議案10件、報告2件、請願1件、意見書案1件、報告書1件について審議が行われ、原案どおり議決(可決7件、認定4件、同意1件、採択1件)されるところにも報告を終了(2件)いたしました。

今定例会では、町立中央病院、水道、下水道の公営企業会計決算が認定されています。そこで、平成20年度の病院事業決算、水道事業決算、下水道事業決算について概要をご紹介します。

一般質問

編集 議会事務局

六月定例会一般質問の 要旨をお知らせします

新谷賢剛議員

所属党派 日本共産党

町の核兵器廃絶宣言について見解を問う

一、町は核兵器廃絶を求める声を積極的におこすべきだ。
 二、アメリカ合衆国のオバマ大統領は核兵器廃絶を国家目標にすると四月にブラハで演説をおこなった。核兵器のない世界を呼びかけたオバマ大統領演説をいかに評価するか問う。

答弁 町長

新谷賢剛議員の町は核兵器廃絶を求める声を積極的に起こすべきであるというこのご質問に答えさせていただきますが、アメリカ合衆国のオバマ大統領は議員のご質問の中にもありましたように核兵器廃絶を国家目標にすると四月にブラハで演説を行っております。核兵器のない世界を呼びかけたオバマ大統領演説をいかに評価するかという内容のご質問でございますので、この全体の答弁とさせていただきますが、ご指摘の

ように今、中央アジア圏域そして日本を含む東アジア圏域が核の脅威にさらされていることは周知のところであります。世界で唯一の被爆国として二度とヒロシマ・ナガサキの悲劇を繰り返しては絶対なりません。平成七年わが町は、かけがえのない郷土を核戦争をはじめ、あらゆる戦火にさらさせないために日本国憲法の理念であり、人類共通の願いである世界恒久平和を願い核兵器廃絶と平和の町となることを宣言いたしました。このときの提出者は、岡鐵雄議員であるし、賛成者の中には新谷賢剛議員の名前も載っているわけです。今、改めて核兵器を廃絶し、子々孫々平和であり続けるように役場庁舎前に建立した核兵器廃絶と平和の町宣言にありませうに世界が平和であり続けることを願って止みません。

このような時期に、核保有国の

中で核兵器廃絶を国家目標にする
と宣言された大統領はオバマ大統領以外におりません。大国のリーダーとして国際平和に向けた画期的な発言であると認識しておりますし、同時にその実現に向けた具体的な政策と外交を期待するところであります。私も会議等で広島に出張する都度、朝早く起きてあの原爆の場所のお参りを一度も欠かしたことはありません。

五所川原市への編入合併申し入れに 対して見解を問う

一、五所川原市への編入合併申し入れは、町民に理解され、かつ支持されたこととするのは根拠に乏しい。合併の是非を、相手が五所川原市で方法が編入合併であることを止しく町民に説明した上で町民へ尋ねるべきである。

答弁 町長

二点目は合併の問題であり、五所川原市への編入合併申し入れに對して見解を問う。ということでございますけれど、五所川原市への編入合併申し入れは、町民に理解され、かつ支持されたこととするのは根拠に乏しい。合併の是非を、相手方が五所川原市で方法が編入合併であることを正し

く町民に説明した上で町民へ尋ねるべきである。という内容でございます。既にご承知のとおり、去る六月一日、出町議長はじめ、當麻合併促進特別委員長、北谷合併促進特別委員長とともに五所川原市へ合併協議の申し入れをいたしました。

ご質問にあります五所川原市への編入合併の住民説明につきましては、町議会合併促進特別委員会が昨年九月に設置されて、これまで町財政運営計画資料等をもとに調査検討を経て、五所川原市への編入合併を目指す方針を示されたので、その方針に従い町主催

により町内5か所の説明会を開催してまいりました。町の将来の財政状況をはじめ、新合併特例法が平成二十二年三月までの期限の中で期間が残り残されていないこともあり、編入合併の形で五所川原市へ申し入れする旨を各会場において説明をし、意見要望などを伺ってまいりました。また、議員の皆様全員にご案内を差し上げ、全会場の意見要望等を一緒にお聴きいただいたところであります。

担当課長から財政運営資料の説明の中で編入合併について説明もしておりますし、私を含め議長、合併促進特別委員長からも編入合



併について説明をして参りました。また、それらを含め様々な質問、意見要望等にお答えを申し述べ、さらには全町にわたり町各種委員をはじめ、任意団体の役員の方にご参集いただき同様の説明と意見などをお伺いしたところでありました。

町民の様々な意見要望等には可能ならばこれまで町民とともに築き上げてまいりました歴史や文化を継続し続けたいとの想いがこめられた意見もありました。しかしながら、今後の人口減少と交付税の減少の中で子や孫の世代を考えたときに新合併特例法の残された期間のなかで五所川原市との合併に前向きに取り組むこともやむを得ずとの意見も多く、これら主要な意見等とりまとめ、五月二十七日の合併促進特別委員会にも資料として報告し、議会特別委員会の決定を踏まえなうえで判断をした次第でありますので、町民の皆様にはご理解いただけたものと認識しております。

**二、合併せず町を維持していくと
きでも、廻堰溜池周辺の整備と
維持は財政に見合って見直され
ていくべきである。**

答弁 町長

合併をせず町を維持していくときでも、廻堰溜池周辺の整備と維持は財政に見合って見直されていくべきである。というご質問でございますが、廻堰溜池周辺は、富士見湖パーク、丹頂鶴自然公園と一体化しながら町の観光地として環境整備を進めてまいりました。イベントも町民手づくりの桜まつりをはじめ、富士見湖一周マラソン、全国へら鮎釣り大会と年々訪れる観光客も増えて年間三十万人を数えるところであります。特に津軽富士見湖はヘラブナの宝庫であり、例年全国から多くの釣りマニアが訪れることで知名度も高まってまいります。更には町民参加による桜の植樹を実施しており、今年も桜まつりを前に町民の皆さんのご協力により三百本の桜を植樹したところであります。合併の有無に拘わらず整備と維持管理については、自然公園として守られる範囲で、財政に見合う形で保全されていくべきものと考えております。なお、これは新聞に出た記事をちよつと読ませていただきますが、これまでお上からお金を貰ったことが一度もあつたらうか。旅を愛する者として今回の定額給付金はこの上なくうれしかった。以前から行きたいと思つていた鶴田町の鶴の舞橋へと一路東北自動車道で向かった。サーブエリアで昼食を摂り、三時過ぎには鶴の舞橋に着いた。岩木山の麓、津軽富士見湖に架かる日本一長い木の橋。丹頂鶴自然公園と富士見湖パークとの間に架かり、橋の中段一

か所に舞台があるアーチ形の橋は絶景かな。まるで鶴が翼を広げたような情景だった。公募で名前が付けられたそうだが、まさしくその名前にぴったりの橋であった。湖の傍らに建つ旅館の湖側の和室に宿泊した。夕日に染まる橋を眺め、夜、欄干の行灯に灯がともると、それはまるで無数の螢火の明かりのようで見事だった。さらに翌朝の霧に浮かぶ姿は幽玄そのものだった。給付金は消えたが、欄干の木の香りは、今も鼻の奥に残っている。ということが出ていました。もう今では富士見湖もこのように、この方は宮城県の方でございますので、全国にこのようにだんだん宣伝されてきているなと思つているところであります。

**三、町を単独で維持していけない
としたことに、町長としての責
任を感じるか。**

答弁 町長

三点目は町を単独で維持していけないことに、町長としての責任は感じるか。ということですが、これまで度々申し述べてきましたように、町の主要財源である地方交付税の算定方法が法律の改正により平成十九年度から人口と面積割りに変わったことから、将来を見据えた状況では維持していくことが厳しい状況になって参りました。もちろん、これまで

集中改革プランに従い、行政改革を断行し機構改革を含め経費削減に努めてきましたが、この自治体も地方交付税削減により財政は疲弊しきつており、そのような時代であればこそしっかりと行政の舵取りをすることこそが、私に課された使命であるとの認識に立ち、今はその職責を全うしたいという心境であります。以上で答弁とさせていただきます。



◎ 広報つるた 有料広告募集のお知らせ

広報つるた有料広告の掲載を募集しております。毎月の発行部数は約5,000部で、全町に配布され多くの町民の方が目にします。広告を掲載したい企業・団体は、下記までお問い合わせください。なお、有料広告の内容等は、町の告知・案内等とは関係ございません。

問い合わせ先…総務課 まちづくり班 ☎22-2111 (内線263)

よしだ耳鼻科・小児科
耳鼻科・小児科・内科・アレルギー科
いびき・睡眠時無呼吸でお悩みの方、ご相談下さい
耳鼻科：秋田 三和興 小児科：秋田 直子
予約専用受付電話
0172-33-2306
〒036-8155 弘前市中野2-1-15 <http://www.yoshida-js.com/> (PC・携帯)
平日/AM9:00~12:00・PM3:00~7:00 土曜/AM9:00~1:00 休診/日・祝日